

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	1	・設備、指導訓練室等、制度に沿って整備している ・アコーディオンカーテン、パーテーション等配置し必要なエリアを確保するよう努めているが、今後も活動内容や状況に応じてスペースの使い方を工夫していく
	② 職員の配置数は適切であるか	4	3		・現在 8 名の有資格者が療育に関わり、必要な人数を適切に配置し支援している
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		・十分配慮されている
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2		・目標は常勤職員が設定したものを非常勤職員に周知し、振り返りを常勤、非常勤職員全員で行なっている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	3	4		・これまでも事業所独自のアンケート調査を実施。出来るところから業務改善につなげてきたが、今後は評価表を活用したアンケート調査を定期的実施していく
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		6	1	・まだ一般への公開はしていない。今年度から事業者向け自己評価表の結果をインターネットで公開していく
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	3	・課題事項となっている。今後取り組んでいく
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		・確保し推薦している
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3		・作成している ・職員間で共有できるように周知する
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5		・標準化されたものは使用していないが、色々な方法でアセスメントし子供の適応状況を図っている ・標準化されたアセスメントツールの導入は、課題として検討していく
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	3		・現在は常勤職員が立案している ・今後は非常勤職員の案をもらいながらチームで行なっていく
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	1	6		・活動内容が偏らないようにプログラムの組み合わせ等を考えてきたが、今後は、個別支援目標に添ったプログラムを増やしたり、条件がととのえば屋外での活動を増やすことも検討していく
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		・支援している
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		・作成している ・職員間で共有できるように周知する
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	⑯ 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	2	・支援終了後は勤務時間の都合上、常勤職員で行ない、翌日の支援開始前の打合せの時、改めて確認。情報を共有している

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	1	・今後の支援に繋げるため、日々気づいたことを含めながら正しく記録し必要に応じてその都度打合せをしている
	⑱ 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3		・半年に1回モニタリングの機会を設け、支援計画の見直し・検討を行なっている。 ・子どもの状態や家庭状況等に変化があった場合も含め、計画の実施状況を把握し見直しの必要性を判断して行きたい
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	5		・行なっている。会議等で周知し共有に努める
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわし者が参画しているか	6	1		・参画している
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		・基本的には保護者を通して行なっているが、送迎時のトラブル発生時等、緊急時は直接学校に連絡して調整している
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか		6	1	・これまで主治医と直接の連絡体制はなく、過去に保護者を介して受け入れていたことがある。今後医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、保護者と相談しながら、必要があれば主治医とも連携していきたい
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5	2	・当事業所では中高生がメインのため、就学前の事業所との直接のやりとりはなかった。今後、必要な場面があれば、連携をとっていきたい
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5		・移行支援会議が開かれる場合は積極的に参加している。会議に参加できない場合も可能な限り計画相談事業所等へ情報を提供し、卒業後の事業所に繋がるよう協力している
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1	・受けている ・アーチルや仙台サンホームとは必要に応じて情報を共有し、支援に繋げている
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	5	・これまで放課後児童クラブや児童館との交流はなかった。今後利用者、保護者とも意見交換しながら検討していく
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		7		これまで地域自立支援協議会との直接的な交流はなかったが、放課後ネットワークなどを通じて、行政との意見交換に参加してきた。今後もネットワークに参加しながら、又協議会等とどのような関わり方が出来るのかを検討していく
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		7		・現在ペアレントトレーニングとしての助言は意図して行なっていない。保護者面談時や送迎時に日々の対応等に対して相談があった場合は、その都度、またはその後、職員会議にて検討し保護者へ報告している。今後検討していきたい
⑳ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		・契約時に運営規定や契約書その他の資料を用いながら適切な説明を行なっている ・職員間の周知に努める	

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③① 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		・行なっている
	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	4	・過去には行なっていたが現在は無い。今後、父母の会や保護者会の在り方や内容等保護者と相談しながら検討していく
	③③ 子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	7			
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	2	・現在大きなイベントは企画していないが、過去にバザーやお祭りを行なった時は地域からの参加もいただいた。今後も前向きに検討していきたい
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		・職員間ではマニュアル配布して共有している ・保護者には、緊急時対応マニュアルのみ説明し配布している。その他については策定されているが配布はしていない。今後、必要な部分を説明し周知に努める
	③⑨ 非常災害発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		5	2	・避難経路の確認や救命救急講習の受講など、職員間での情報共有や実施は行なっていたが、子どもとの避難訓練が不定期で、反省している。今後は年間計画に沿って定期的な訓練の実施に努める
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	5		・虐待に関する研修は非常勤を含む職員全員が参加する機会がなかった。今後は常勤職員が受けた研修を非常勤職員と共有できるよう改善していく
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3		・法人で決定し、事前に十分説明したうえで個別支援計画に記載し家族の了解を得ている
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	2	4	1	・食物アレルギーに関しては、医師からの指示書はなく、保護者との情報交換に於いて事前に確認をとって、それに基づいた提供を行なっている。医師との直接的な連携が必要かどうかは、今後も保護者と相談していく
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		7		・ヒヤリハットの事案が発生した時は打合せの機会を設け、職員全員で情報共有し、対応策を確認。その後の支援に反映させている ・書面に残していないため今後の課題として取り組む